

第 62 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2016 年 4 月 6 日（水）15:00～17:00
2. 場 所：東京理科大学 森戸記念館 第 2 会議室
3. 出席者（役職順／所属順，敬称略）

三木 哲也議長，日高 邦彦副議長，鶴原 稔也幹事，石橋 邦夫幹事，札野 順幹事
丸山 信委員，夏 恒委員，本間 重一委員，橋本 義平委員，中野 智仁委員，
川上 理英オブザーバー，木暮 賢司事務局員
3. 議題
 - ①前回議事録(案)について（審議）（技倫資料 62-3）
 - ②委員の交替について（報告）（技倫資料 62-4）
 - ③来年度の体制について（審議）（技倫資料 62-4）
 - ④日本技術士会「第 8 回技術者倫理シンポジウム」開催案内について（報告）（技倫資料 62-5）
 - ⑤会員活動報告について（報告）（技倫資料 62-6）
 - ⑥次回協議会の日程について
 - ・日時：2016 年 5 月 20 日（金）15:00～17:00
 - ・場所：東京理科大学 森戸記念館 第 2 会議室
 - ⑦その他
4. 配布資料：

技倫資料 62-1：第 62 回技術倫理協議会 議題表
技倫資料 62-2：第 62 回技術倫理協議会 出欠表
技倫資料 62-3：第 61 回技術倫理協議会 議事録(案)
技倫資料 62-4：2016 年度日本工学会技術倫理協議会構成（平成 28 年度体制）
技倫資料 62-5：日本技術士会「第 8 回技術者倫理シンポジウム」開催案内
技倫資料 62-6：第 62 回技術倫理協議会 会員活動報告
5. 議事
 - ①前回議事録案の確認（技倫資料 62-3）
 - ・資料の通し番号 5 ページ上から 2 行目「機会学会」を「機械学会」へ変更する。
 - ・その他については，原案通り了承。
 - ②委員の交替について（報告）（技倫資料 62-4）
 - ・日本機械学会からの委員を，狼 芳明氏から夏 恒氏へ交替する。
 - ・日本建築学会からの委員を，高橋 信之氏から石川 孝重氏へ交替する。尚，松藤 泰典氏の後任は空席とする。
 - ・委員の交替についてはこれまで「審議事項」としてきたが，今後は「報告事項」とする。
 - ③来年度の体制について（審議）（技倫資料 62-4）
 - ・三木議長から日本建築学会へ『石川先生を副議長として，また早急に幹事を選出して欲しい』と依頼する。
 - ④日本技術士会「第 8 回技術者倫理シンポジウム」開催案内について（報告）（技倫資料 62-5）
 - ・本間委員から添付資料について「参加自由なので是非とも参加して欲しい」との報告があった。
 - ⑤その他
 - (a) 技術倫理協議会ホームページへの掲載について
 - ・技術倫理協議会ホームページへ掲載を希望する場合には，委員等から幹事へ資料一式

を送付する。

- ・資料を受領した幹事は、議長へ掲載可否の判断を得る。
- ・掲載「可」の場合には、事務局に掲載を依頼する。
- ・掲載「否」の場合には、提案者へその旨回答する。

(b) 技術倫理協議会ホームページについて

- ・現在の技術倫理協議会ホームページのトップ画面から日本工学会へ『戻るボタン』がないので、新設する。

⑥ 次回協議会の日程について

- ・次回協議会は5月20日に森戸記念館で行うが、主にシンポジウムについて議論する。

⑦ 会員活動報告について（報告）（技倫資料 62-6）

	学協会名	報告概要
1	電気学会	<p>(1) 2016年1月26日に2015年度第4回倫理委員会教育WGを開催した。</p> <p>①第9回技術者倫理フォーラム（2016/3 予定）の計画状況審議 ②WECC2015の報告、機械学会の「法工学」に関する特別講演報告ほか</p> <p>(2) 2016年3月3日 第9回技術者倫理フォーラムを開催 テーマ【社会安全を担う技術者の育成】</p> <ul style="list-style-type: none">・最近の組織不祥事を鑑み、今回は特に企業活動に焦点をあてて議論。 <p>話題提供1：「事例をいかに未来の安全につなげるか」大場 恭子氏（JAEA）</p> <p>話題提供2：「JR東日本 安全レベルアップを目指して」 －事故の歴史と今後の取り組み－片方喜信氏（JR東 安全企画部）</p> <p>話話題提供3：「電力安定供給を支える技術者の役割」矢萩 保雄氏（エアテック：元東北電力副社長）</p> <p>(3) 2016年3月7日に34回倫理委員会を開催し、「教育WG活動内容」ほか各種活動報告、2015年度事業報告案、2016年3月電気学会全国大会シンポジウムでの倫理委員会主催の講演会の最終確認ほかを審議した。</p> <p>○上記倫理委員会後、定例講演会を開催した。</p> <p>講師：全日本空輸（株）執行役員 田中龍郎氏（安全統括） 演題：【ANA グループの安全の取り組み】－安全マネジメントシステムの構築と安全文化の醸成－</p> <p>○次回（6月委員会）では、キャノングローバル戦略研究所 氏田 博士氏を予定。</p> <p>(4) 2016年3月17日に電気学会春の大会（東北大学）：技術者倫理委員会主催シンポジウムを開催 テーマ：「社会のための科学技術（東日本大震災を契機に考え直す）」</p> <p>講演1：社会的合意形成、リスクコミュニケーションのあり方 小林 博司氏（大阪大学）</p>

		<p>講演 2：防災に関する技術とマネジメント 佐藤 健氏（東北大学）</p> <p>講演 3：大規模災害を踏まえた電力の取組について 早田 敦氏（電事連）</p> <p>講演 4：不測の事態の対処を可能とする組織とは 早瀬 賢一（電中研）</p>
2	電子情報通信学会	<p>(1)2月23日に倫理委員会事例集検討小委員会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月22日の倫理委員会での議論結果を踏まえて、シナリオを作成する。 ・『対立する価値判断の軸』として以下のような対立軸で事例を選定した。 <ul style="list-style-type: none"> ①公共のため vs. 法律違反 ②秩序（規制） vs. 自由（ルールブレイクイノベーション） ③全体最適 vs. 部分最適 ④提供者責任 vs. 利用者責任 ⑤安心・安全（確実性） vs. リスクテイク（スピード・利便性） <p>(2)4月11日に倫理委員会を開催し、事例集検討小委員会の今後の方向性について議論する予定。</p>
3	土木学会	平成26年5月、土木学会100周年を機に改定された「土木技術者の倫理規定」の啓発用教材「土木技術者の倫理を考える-3.11と土木の原点への回帰-」を本年3月に発刊した。
4	日本化学会	
5	日本機械学会	<p>(1)2015年度年次大会（北海道大）の年次大会市民フォーラム「責任ある研究活動（Responsible Conduct of Research）を促進するために-単なる研究不正防止を越えて-」を実施した。</p> <p>(2)2016年度年次大会ワークショップの企画を検討した。</p> <p>(3)2015年5月号会誌小特集号「技術者倫理教育の世界」を発行した。</p> <p>(4)技術倫理委員会のWEB発信記事を検討し、掲載した。</p> <p>(5)本会倫理規定英文版および和文の一部変更を検討した。</p> <p>(6)日本機械学会倫理賞新設の検討をした。</p>
6	日本技術士会	<p>(1)倫理委員会を2月に開催し、以下の事項を検討・審議。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2016年5月17日（水）午後、学士会館で開催する「第8回技術者倫理シンポジウム」はテーマ「科学技術と社会の関わり～トランスサイエンスと技術者倫理～」で開催することを実施要領の概要と併せて確認。3つの講演とパネルディスカッションを予定。 ②綱領小委員会は、最近のトラブル・不祥事例等も考慮し、「技術士倫理綱領解説」の修正要否を検討中。 ③情報小委員会は、11月初旬開催の第43回技術士全国大会（横浜市）で「技術者倫理ワークショップ」の企画検討中。 <p>(2)「倫理教育検討WG」を2月に開催し、テキスト「大学講義 技術者の倫理入門（第4版）」と日工教・技術者倫理調査研究委員会の「モジュール型シラバス」を対比・検討し、主に技術士</p>

		が講師を務める技術者倫理講座の教材の構成等を検討。 (3)月刊「技術士」に「技術者倫理啓発活動」シリーズ（'15/8月号～'16/8月号）として、統括本部・8地域本部の活動を掲載中。 次のシリーズ企画を検討中。
7	日本原子力学会	
8	日本建築学会	
9	日本工学アカデミー	
10	日本工学教育協会	(1)第3回国際WS「国境なき技術者倫理教育の構築」実施2/7@東工大岡山.台湾,カタル,米国,オランダから講師。学習・教育目標2016案とモジュールについて高い評価を得た.27名参加。 (2)科研費1年延長し,引き続き学習・教育目標2016,モジュール等仕上げ。 (3)H28年度～「新しい時代の技術者倫理・研究倫理教育―大規模教室でも活用可能な革新的教材の開発―」科研費申請中。 (4)第64回年次大会にてオーガナイズドセッション「技術者の倫理的問題解決のためのコミュニケーション」開催予定,9/5-7@大阪大学。 (5)The World Engineering Education Forum & The Global Engineering Deans Council 2016 (WEEF & GEDC)にてセッション提案,11/6-10@ソウルCOEX。 (6)倫理綱領パブコメ3件を受けた。軽微な修正を行い機関内承認作業中。
11	日本非破壊検査協会	活動していません。
12	日本マリンエンジニアリング学会	

(以上)